

「核兵器廃絶平和祈念像」の制作インタビュー

(2022年(令和4年)6月19日)



作品を制作したときのことをお伺いできるでしょうか。

1995年(平成7年)、戦後50年が経ち、戦争の事実を風化させることなく後世に伝え、核兵器のない平和な社会を創造していくという願いを込めた作品を制作してほしいと、市から依頼がありました。依頼をされた頃は、日本とイタリアを往来する生活をしていましたが、ちょうどその時に、チェルノブイリ(チョルノービリ)原発事故が起きました。1,300キロも離れているイタリアでも、あらゆる生鮮食品が食べられないという状況に置かれ、創作活動をするような状況にありませんでした。

それでも制作を始められたのには理由があるのですか。

混乱した生活を経験して、母なる大地の怒りを表現したいと奮起して、制作を始めました。



作品に込められたメッセージについて、お伺いできるでしょうか。

憎しみや破壊に代わる、愛と創造をメッセージに込めました。

「母」は「大地」を、「子」は創造者である「人」を表しています。台座には、16枚の浮彫がありますが、これは、夫のサークルが中心になり制作したものです。「平和への願い」「核兵器廃絶の誓い」「平和だからこそできること」「平和を保つための叡智と両性のパートナーシップ」などが表現されています。

子どもの頃は鶴沼にお住まいだったとお聞きしました。

第二次世界大戦のときは鶴沼に住んでいました。鶴沼は直接の被害は少なかったのですが、B29爆撃機が次々と上空を通過していきました。夜になると東京や横浜方面の空が炎で赤く染まり、もの凄い恐怖を感じたことを覚えています。

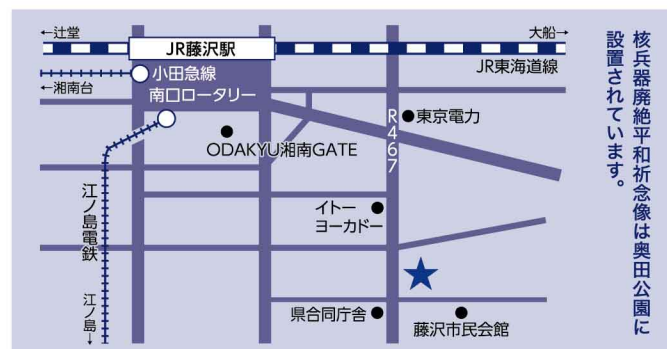
「平和」についてどのようにお考えですか。

作品を作るときは、一人ではなく、さまざまな国から芸術家10人くらいで集まって作業をします。私は、そうした環境で、友情の輪を広げてきました。最近も仲間が、ちょっと翻訳が変なところがありますけど、「私たちはあなたを愛して、くま」ってメッセージを書いた色紙と、小さな石から作られた彼等の作品を木箱に詰めて、送って来てくれました。「平和」はこうした交流や繋がりが礎になって、広がっていくものだと思います。

「平和」について、若い世代の皆さんにメッセージはありますか。

「平和」はとても大切なことです。けれど、昨今の国際情勢を見ても、理想だけでは「平和」な社会が続くわけではありません。一人ひとりが自分ごととして、しっかり考えていくことが大事だと思っています。

そして、世界に目を向けて、いろいろな人と交流して、相手の文化を知り、友情を広げていってほしいと思います。



熊坂 兌子作

NAOCO KUMASAKA

核兵器廃絶 平和 祈念像

平和の母子像



「藤沢市核兵器廃絶平和祈念像(平和の母子像)」は、1995年(平成7年)に、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」及び「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」の趣旨を具体化し、核兵器の廃絶や恒久平和の実現をめざすシンボルとして、奥田公園内(屋外展示)に設置されました。

藤沢市・藤沢市平和の輪をひろげる実行委員会

核兵器廃絶平和祈念像は、生命を育む大地(母)に抱かれた未来の創造者である人(子)が表現されています。

台座には、熊坂兎子さんの夫で彫刻家のサール・シュワルツさんとの共作である16枚の浮彫が側面にはめ込まれています。上面には、「緑と太陽と潮風のこのまちを 私たちは愛する このまちを この国を そしてこの地球を 平和の潮で永遠にみたしつづけることを 私たちは誓う」と当時の葉山峻藤沢市長の碑文が刻まれています。



熊坂兎子さんのプロフィール

- 1933年 横浜に生まれる 6歳から藤沢に住む
- 1956年 東京芸術大学芸術学科卒業
- 1956年～70年 県立藤沢高等学校などで美術を教える
- 1972年～77年 スカロプチャーセンターオブニューヨークのメンバーとなり、10回以上の展覧会に出品
- 1978年 彫刻家サール・シュワルツさんと結婚
当時の県立婦人総合センターモニュメント「自由の翼」(1982年)をはじめ市内外で多くの作品を制作



1 世界平和



2 田植え



3 観光旅行



4 叡智



5 家族



6 宗教の共存



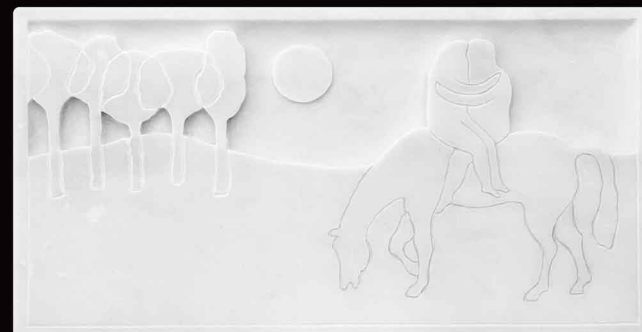
7 自然の中の人間



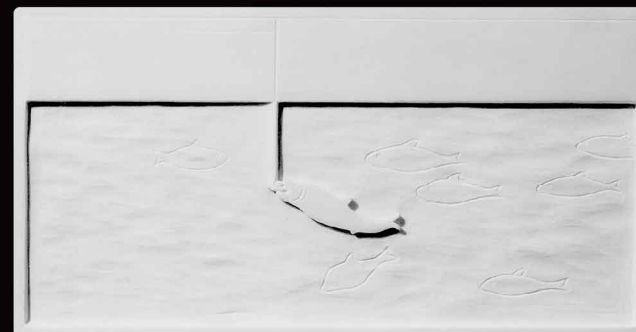
8 二羽の鳩



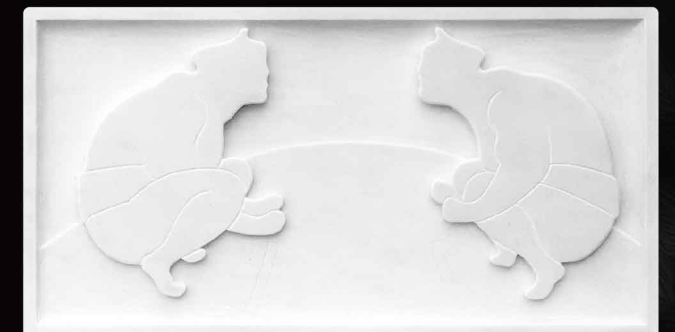
9 広島 長崎 1945



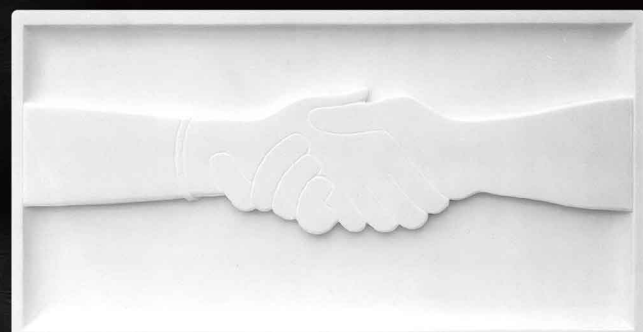
10 蜜月



11 釣り



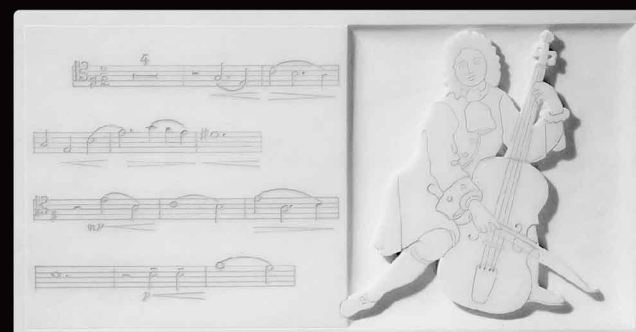
12 相撲



13 両性のパートナーシップ



14 テニス



15 音楽



16 世界の子供が輪になって踊る